

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.15

No. 50

就職希望者 自ら動け！



先日ハローワークよりまだ募集をしている企業とすでに募集を終了した企業の一覧表が届き、就職が一次でうまくいかなかった人全員に配布しました。ところが、それを見て進路に相談に来た生徒はほんの数名しかありません。わずかとはいえまだ募集している企業には出来るだけ、応募して欲しいと思っておりますが、反応が鈍すぎます。

待てばもっと良い企業が出てくると思っているのか、どうして良いのか迷い動けずにいるのか分かりませんが、先へ行けば行くほど求人が無くなる可能性があります。残っている会社がどういう会社なのか調えず、ポーと今この時を過ごしていると、後になり求人が無くなったとき困るのは皆さん自身です。

かなり内容の良い会社もまだ残っていますので、是非もっと積極的に残っている会社がどこにあり、どんな仕事をしている会社なのか等自分で調べてください。求人票を見るだけでも会社の様子がある程度分かりますし、進路室に相談に来、これはと思ったら企業を見に行くことも必要です。皆さんが動かなくても他の学校の生徒達は積極的に動いているはずで、そうなれば次々に良さそうな企業は埋まっていってしまいます。係としてそこが一番心配です。

学校祭を直前にして、その準備に追われたりそれに気を紛らわしてはいけません。今はもっと自分の進路のことを真剣に考え自ら行動しなくてはいけない時です。自分で何とかしようという強い意志がなくては道は開きません。



自分の道は自分で開く

除雪機のコマーシャルで「朝起きたら道があいていた・・・」というのがありますが、皆さんのこれまでの人生は、常に親や周りの色々な人が手助けしてくれ、時には道をあけてくれてそこを歩いて来れば良かったと思います。これからもうしばらくはそうした周囲の手助けにより生きていく部分がありますが、そろそろ自立して行かなくてはならない時期を迎えています。

これからは「自分をよくするも悪くするも自分次第」ということを肝に銘じなくてはなりません。自分を甘やかすと伸びるものも伸びません。自分に厳しく向上心を持つ者は伸びていくでしょう。いつも周囲の誰かが手をさしのべ自分を導いてくれるなどと思っていれば大間違いです。何よりも自分のことは自分でしなくてはダメです。今自分は何をすべきかを常に頭の隅に置き、考えながら行動をとることが必要でしょう。

最後まであきらめない

チリの落盤事故から69日ぶりに昨日14日に作業員33人が全員地下700mから無事救出されました。まさに奇跡の生還ともいえます。世界中がその動向に注目していましたが、その救出に当たった人のみならず内部に閉じ込められた人も含めて、最後まであきらめずにいたその成果でもありましよう。私達の人生においても、困難にぶつかっても最後まであきらめないことの大切さを今回の事故を通じて学んだような気がします。

